

聖徳太子伝記

文保二（一三二八年）の頃。醍醐寺所蔵。平安時代の『聖徳太子伝暦』に補註が加えられ、やがて本文となり、さまざまに變形した内の一本。

（略）住吉四所大明神ハ、皈^{シテ}ニ行基菩薩^{ナメ}一嘗^ニ眞如法味^一、増^ニ和光ノ力用^ニ也、信州戸隠ノ大明神ハ、契^ニ學問行者^一顯^シニ四所ノ本体^一、惠^ニ四海ノ群生^一也、同國取波ノ大明神ハ、貴^テニ善光寺ノ如來^ヲ一、毎夜丑ノ時ニ御参詣不^レ懈也、（略）

註 1942年から同1943年にかけて龍吟社より刊行された『聖徳太子全集』（既刊全四冊）の第三卷に所収。

1988年の臨川書店版では第二卷所収。